

平成 20 年 3 月 10 日  
日本銀行盛岡事務所

## 岩 手 県 金 融 経 済 概 況

### 1. 概 況

県内経済は、横這い圏内で推移している。

最終需要の動向をみると、設備投資が前年を上回っているほか、住宅投資、公共投資も前年を上回っている。一方、個人消費は弱めの動きとなっている。こうした中、生産は高水準ながら、弱含みの動きが見られはじめている。この間、雇用情勢は横這いの動きとなっている。

### 2. 最終需要

#### (1) 個人消費

個人消費は、総じてみれば弱めの動きとなっている。

#### (大型小売店売上高)

百貨店の売上高をみると、防寒用の寝具に動きが見られたものの、衣料品が低調なほか、身の回り品、雑貨などの売れ行きも鈍く、前年を下回って推移している。スーパーでは、石油製品や食料品の値上げもあって、買上げ点数の減少など節約志向が続いている。そうした中で、中国餃子の問題から冷凍食品や中国惣菜の売上げが落ち込んでいる。

#### (家電量販店売上高)

家電販売では、冷蔵庫や洗濯機など白物家電が伸び悩んでいるが、ブルーレイの売行きが好調なDVDに加え、薄型テレビやデジカメが順調なことから、全体では前年を上回って推移している。

#### (乗用車新車登録台数)

1月の乗用車新車登録台数(軽自動車を含む)は、普通車が前年を大きく上回ったものの、小型車、軽自動車が低調なことから、全体では前年を下回って推移している。

## (2) 公共投資

2月の公共工事請負金額は、国の大型土木工事の発注がみられたことから、2ヶ月連続して前年を大幅に上回った。

## (3) 住宅投資

1月の新設住宅着工戸数は、前年を1割方上回った。用途別に見ても、持家、貸家、分譲とも前年を上回っており、改正建築基準法施行の影響は、かなり薄らいできたと思われる。

## (4) 設備投資

2007年度下期の設備投資計画(12月短観調査結果)をみると、電気機械や一般機械に設備投資積み増しの動きがみられ、製造業を中心に、前年度を上回る計画となっている。

## 3. 生産動向

生産は、高水準ながら弱含みの動きが見られはじめている。

### (電子部品類)

電子部品・デバイスでは、全体に高操業が続いているが、米国の個人消費の減速などを背景に、一部に操業度を引き下げる動きも見られている。

### (輸送機械)

完成車は、米国の低所得者層の需要落ち込みなどから、操業度をやや引き下げている。自動車部品は、新興国向けの需要好調を背景に高操業が続いている。

### (一般機械)

建設機械部品は、新興国向けを中心に堅調に推移しているが、半導体価格の下落から半導体製造装置が生産レベルを引き下げているほか、自動車関連向け工作機械も米国の受注鈍化から生産を多少抑制している。

### (その他)

鉄鋼の線材は、自動車向け需要に支えられ、高操業を続けている。一方、窯業・土石、木材・木製品は、減産体制を続けている。食料品は、冷凍調理食品は堅調なもの、水産缶詰が原材料コストの上昇などから減少傾向にあり、全体では横這いで推移している。

#### 4. 雇用・所得の動向

雇用情勢をみると、1月の有効求人倍率(季節調整値)は0.68倍(前月:0.64倍)と10ヶ月振りに上昇した。また、新規求人倍率(同上)は1.05倍(前月:1.00倍)と、2ヶ月連続して上昇した。

この間、雇用者所得は、常用雇用者数が前年を下回って推移していることから、前年割れの状態が続いている。

#### 5. 企業倒産

2月の企業倒産(負債総額10百万円以上)は、件数7件(前年同月10件)、負債総額18億2百万円(同12億96百万円)となった。

#### 6. 金融面の動向

預金動向をみると、法人預金が前年を下回っているものの、個人預金が増加していることから、全体では前年を上回って推移している。

一方、貸出動向をみると、法人向けが低調なうえ、住宅ローンが頭打ちになっていることから、全体では前年を下回って推移している。この間、貸出金利は、やや弱含んでいる。

以 上

本件に関する問い合わせ先 日本銀行盛岡事務所 TEL : 019-624-3622 (代) <a href="http://www3.boj.or.jp/morioka/">http://www3.boj.or.jp/morioka/</a>
--